

- 問1 世界の主要な農作物の統計において、ブラジルの生産量が全体の約34%、次いで第2位の国が約15%、インドネシアが約7%を占めている作物があります。この第2位に該当する国に関する説明として、地理的な視点から最も適切なものを選びなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- マレー半島の先端に位置し、中継貿易の拠点として発展している。
 - インドシナ半島の東側に位置し、首都をハノイに置いている。
 - 内陸国であり、メコン川の中流域に沿って国土が広がっている。
 - 赤道直下に位置する多くの島々からなり、東南アジアで最大の面積を持つ。
- 問2 トルコの宗教や国際組織への加盟状況について述べた説明として、正しいものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- 国民の多くはキリスト教を信仰しており、ヨーロッパ連合（EU）には加盟していない。
 - 国民の多くはイスラム教を信仰しており、ヨーロッパ連合（EU）には加盟していない。
 - 国民の多くはキリスト教を信仰しており、ヨーロッパ連合（EU）に加盟している。
 - 国民の多くはイスラム教を信仰しており、ヨーロッパ連合（EU）に加盟している。
- 問3 アジアに位置する国々のうち、日本よりも国土面積が広く、かつ海に面していない「内陸国」に該当する国はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- タイ
 - ベトナム
 - モンゴル
 - フィリピン
- 問4 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟している国の中でも、インドシナ半島の中心部に位置し、国民の多くが仏教を信仰している国の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
- カザフスタン
 - エジプト
 - オーストラリア
 - タイ
- 問5 東南アジアの地理的な特徴について、領土内に赤道が通過しているインドネシアの状況を説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- マレー半島の付け根付近を緯度0度の線が通過しており、熱帯雨林気候を形成している。
 - フィリピン諸島の北側を通過する緯度0度の線が、国の気候に影響を与えている。
 - スマトラ島やカリマンタン島などの主要な島々を緯度0度の線が横切っている。
 - 大陸部に位置するタイやベトナムの南端を、緯度0度の線が通過している。
- 問6 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。
 - 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。
 - 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。
 - 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかることで、山麓の地域のみに大量の降水をもたらす、下流の湖の面積を変動させる。
- 問7 1955年から2015年にかけての世界の地域別人口推移をまとめた統計において、他地域と比較して常に最大の割合を占め、かつ期間を通じて急激な右肩上がりの推移が続けている、世界最大の人口を抱える地域はどこですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- オセアニア州
 - 南アメリカ州
 - アジア州
 - アフリカ州
- 問8 南にインド洋、北にヒマラヤ山脈が位置するバングラデシュ周辺の地形的条件が、この地域の降水量にどのような影響を与えているか、その背景を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- 周囲を高い山脈に囲まれた盆地であるため、外からの湿った空気が入り込まず、森林が育たないほど乾燥している。
 - インド洋から吹き込む湿った季節風がヒマラヤ山脈に遮られて上昇することで、大量の雨をもたらしている。
 - ヒマラヤ山脈から吹き下ろす乾燥した冷たい風が雲の発達を妨げるため、年間を通じて降水量が抑制されている。
 - インド洋を流れる寒流の影響で大気が安定しており、上昇気流が起こりにくいため乾燥した気候となっている。
- 問9 1980年から2015年にかけて、タイやマレーシアといった東南アジア諸国の経済構造は大きく変化しました。この期間における輸出額の変化と品目の動向について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- 経済発展に伴い国内のエネルギー需要が高まったため、原油などのエネルギー資源の輸出が以前よりも盛んになった。
 - 天然ゴムや原油といった一次産品に代わり、機械類などの工業製品が輸出の大部分を占めるようになった。
 - 農業の機械化が進んだ結果、米を中心とした穀物の輸出額が急増し、工業製品の輸出割合を大きく上回った。
 - 天然ゴムの輸出額が20億ドルを超えるなど好調を維持したため、輸出総額に占める一次産品の割合は1980年当時よりも上昇した。
- 問10 西アジアに位置するサウジアラビアの貿易統計において、輸出額全体の6割以上（約65.6%）を占めている主要な地下資源があります。この資源は精製されることでガソリンなどの燃料や、プラスチックの原料として利用されますが、この資源の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- 原油
 - 石炭
 - 天然ガス
 - 鉄鉱石
- 問11 アラブ首長国連邦をはじめとする西アジアの産油国で見られる、石油に依存したモノカルチャー経済から脱却し、経済基盤を広げようとする動きに関連して、ドバイにおける取り組みの説明として正しいものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- 伝統的な真珠採集や遊牧を保護するため、海外からの投資を制限し、自給自足に近い第1次産業中心の社会に戻っている。
 - 広大な砂漠を利用して大規模な露天掘りによる石炭採掘を開始し、重化学工業を中心とした第2次産業への転換を進めている。
 - 石油の採掘を段階的に廃止し、安価な労働力を生かした衣類や雑貨の製造などの軽工業を国の基幹産業に据えている。
 - 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。
- 問12 インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、ラオス、ミャンマーといった東南アジアの国々がひとつのまとまりとして協力体制を築いている組織の目的として、最も適切なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- ヨーロッパ全域の経済・政治的な統合を目指す（EU）
 - 東南アジアの加盟国間での経済協力や地域の平和を目指す
 - アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄を目指す（APEC）
 - 北アメリカの3カ国で自由貿易を促進する（NAFTA）

答え合わせ・解説

問1	答え 2 インドシナ半島の東側に位置し、首都をハノイに置いている。	統計で示されている作物はコーヒー豆であり、世界第2位の生産国はベトナムです。ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する南北に長い国であり、北部のハノイを首都としています。インドネシアもコーヒーの主要生産国ですが、島国であり面積が東南アジア最大であるという特徴があります。内陸国であるのはラオス、中継貿易で発展しているのはシンガポールであり、統計の順位とは一致しません。
問2	答え 2 国民の多くはイスラム教を信仰しており、ヨーロッパ連合（EU）には加盟していない。	トルコは歴史的にイスラム教勢力の中心であったオスマン帝国の領土を継承しているため、現在も国民の大多数がイスラム教を信仰しています。また、地理的にヨーロッパとアジアにまたがっており、長年ヨーロッパ連合（EU）への加盟を希望して交渉を続けていますが、現時点では加盟が認められていない「非加盟国」です。地理の学習において、ヨーロッパ諸国との共通点と相違点を整理しておくことが重要です。
問3	答え 3 モンゴル	モンゴルは中国とロシアに挟まれた内陸国で、海に面していないのが大きな特徴である。その面積は日本の約4倍と広い。タイやベトナムは海に面しており、フィリピンは島国であるため、条件に当てはまらない。
問4	答え 4 タイ	タイは東南アジアのインドシナ半島に位置する国で、伝統的に仏教が深く信仰されており、寺院や僧侶が人々の生活と密接に関わっています。選択肢にあるエジプトはアフリカ大陸北東部、カザフスタンは中央アジアの内陸部、オーストラリアはオセアニアに位置する国であり、場所も文化背景も異なります。
問5	答え 3 スマトラ島やカリマンタン島などの主要な島々を緯度0度の線が横切っている。	インドネシアは東南アジアの南部に位置し、スマトラ島、カリマンタン島、スラウェシ島といった大きな島々を赤道が通過しています。この地理的条件は、インドネシアが熱帯気候となり、スコールなどの特有の気象現象が発生する大きな要因となっています。
問6	答え 1 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。	東南アジアの地理的特徴として、季節風（モンスーン）による降水量の劇的な変化が挙げられます。カンボジアのプノンペン近郊などでは、夏から秋にかけての雨季に降水量が集中します。この気候メカニズムによって、トンレサップ湖では4月の約3,300km ² から10月の約11,600km ² へと、季節によって湖の姿が大きく変わる環境が形作られています。選択肢にある偏西風は主に日本などの中緯度帯に影響を与える風であり、エルニーニョ現象は周期的な異常気象を指すため、毎年の安定した季節サイクルを説明するものではありません。
問7	答え 3 アジア州	1955年からの60年間で、世界人口は爆発的に増加しましたが、その中心となっているのがアジア州です。中国やインドといった人口大国を擁するアジア州は、統計上でも他の地域に比べて圧倒的な人口規模（グラフの厚み）を持ち、医療の普及や経済発展を背景に、現在に至るまで一貫して増加を続けています。
問8	答え 2 インド洋から吹き込む湿った季節風がヒマラヤ山脈に遮られて上昇することで、大量の雨をもたらしている。	バングラデシュの北側には世界最高峰のヒマラヤ山脈がそびえています。夏季に南のインド洋から湿気を大量に含んだ季節風が吹き込むと、この高い山脈にぶつかって上昇気流が発生し、厚い雲が作られます。その結果、バングラデシュを含む地域に膨大な降水量をもたらし、熱帯特有の植生や森林を育む要因となっています。
問9	答え 2 天然ゴムや原油といった一次産品に代わり、機械類などの工業製品が輸出の大部分を占めるようになった。	タイやマレーシアでは1980年代以降、外国資本の積極的な受け入れやインフラの整備を進めることで、急速な工業化を成し遂げました。かつては天然ゴムや原油、すずといった自然から採取したままの「一次産品」の輸出が経済を支えていましたが、現在では自動車や電子部品などの機械類を含む工業製品が輸出の主役となっています。2015年の統計を見ると、タイでは輸出額の約3割、マレーシアでは約4割を機械類が占めるなど、経済構造が大きく変化したことがわかります。
問10	答え 1 原油	サウジアラビアは世界有数の産油国であり、その輸出の大部分を原油が占めています。原油は地下から採掘されたままの石油のことで、私たちの生活に欠かせないエネルギー源であるガソリンや灯油のほか、プラスチックや合成繊維といった化学製品の原料となるナフサなどの元となる極めて重要な地下資源です。
問11	答え 4 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。	ドバイは、中東における物流や観光、金融の拠点となることを目指しています。石油だけに頼るのではなく、世界中からヒト・モノ・カネが集まる仕組みを作るため、観光業や航空産業、商業といった第3次産業に力を入れています。これは、特定の資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」の弱点を克服するための重要な戦略です。
問12	答え 2 東南アジアの加盟国間での経済協力や地域の平和を目指す	東南アジアの地理的なまとまりを活かした地域協力組織であり、資源の有効活用や工業化の推進、さらには紛争の防止などを通じて、加盟国の自立と発展を図ることを目的としている。